

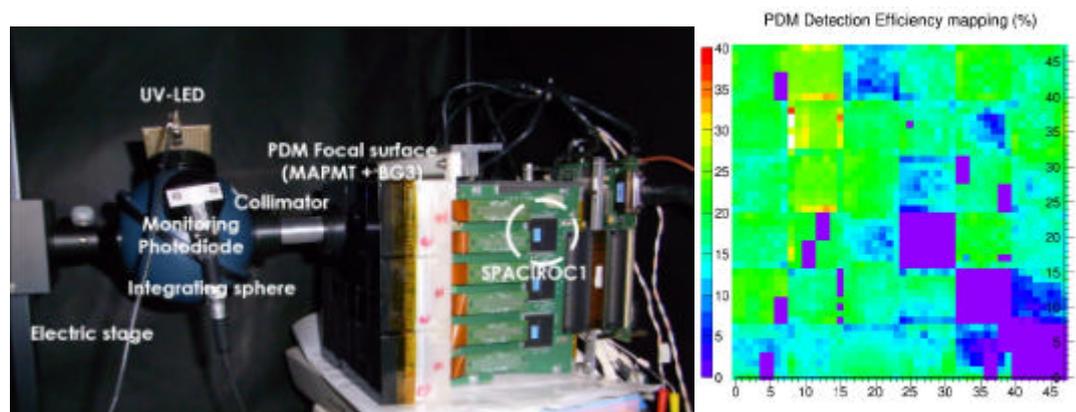
平成 27 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：TA-EUSO64ch マルチアノード PMT の較正と CRAYS との比較
英文：Calibration of TA-EUSO 64ch multi-anode PMT and comparison with CRAYS

研究代表者 東京大学宇宙線研究所・助教・竹田成宏
参加研究者 東京大学宇宙線研究所・教授・福島正己
東京大学宇宙線研究所・准教授・佐川宏行
東京大学宇宙線研究所・特任助教・池田大輔
東京大学・修士 2 年・申興秀
埼玉大学・教授・井上直也
甲南大学・教授・梶野文義
大阪市立大学・特任助教・榊直人
Karlsruhe Institute of Technology・研究員・Michael Karus

研究成果概要

平成 27 年度は物品費の支給がなくデータ解析を中心に進めた。下左図の較正装置を利用して、下右図に示す TA-EUSO 実験の検出器部分である PDM の検出効率分布を得た。この解析結果は米国ユタ州において 5 月および 9 月から 11 月に行われた TA-EUSO 実験の較正データとして使用された。



また、宇宙線研究所 修士の申は当研究課題を含む研究によって東京大学物理学専攻の修士号を無事に取得し、これを物理学会において報告した。

整理番号 E30

